



新篠津小学校だより

発行：令和 7 年 4 月 7 日 No.1

未来を拓く

＜令和 7 年度の重点目標＞

学び合い 伝え合い 高め合い
自ら考え行動する子どもの育成

学校ホームページ（URL）<http://shinsho.ec-net.jp/index.html>



学び合い 伝え合い 高め合い 自ら考え行動する子どもたちに

校長 保谷 剛

まだ肌寒い日もありますが、4 月も雪解けが徐々に進み、新篠津にも春がやってきました。道端にはフキノトウが顔をのぞかせ、そよぐ風からは春の香りが感じられます。

本校では昨年度末より、入学・進学する児童が明るく前向きに学校生活を送れるよう、新年度の準備を進めてまいりました。

本日、12 名の新 1 年生が、期待に胸を躍らせながら入学しました。2 年生以上の児童も、おにいさん・おねえさんとしての自覚も新たに、昨年度とは場所が変わった教室で仲間や担任達と過ごしていました。主役である子どもたちの笑顔により、いっそう華やかになった新篠津小学校の、令和 7 年度がスタートしました。



学び合い 伝え合い 高め合い 自ら考え行動する子どもの育成

これは本校がめざす令和 7 年度の重点目標（めざす子どもの姿）です。学び合い 伝え合い 高め合う教育活動を通して、自ら考え行動する子どもたちを育むとともに、自ら考え行動することをあらゆる場面で意識させ、自立・自律を促すことで、教育活動が一層充実すると考えます。

一人一人の子どもが、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、日々の学習や生活を通して、必要な資質・能力の育成に努めてまいります。

そのために、上記目標を設定し、教育目標及び重点目標達成のため以下の 5 点を今年度の学校経営方針としました。

- ①3 層(伸びしろ層・中間層・定着層)への確実な資質・能力の定着を図る、「対話」を重視した授業改革(授業改善＋意識改革)の一層の推進（ICT の効果的な利活用を含む）
- ②自他の命を大切にすることの心身の教育の推進
- ③子どもの学びを保障する支援体制の構築
- ④未来を創造するキャリア教育と、持続可能なふるさと教育の推進
- ⑤子どもと向き合う時間の確保と働き方改革の推進

子どもたちの日々の学校生活が充実したものとなるよう、そして、明るい未来につなげられるよう、保護者・地域の皆様のご理解とご支援をいただきながら今年度の教育活動を強力に推進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。